

## 2月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 平成29年2月24日（金）午前10時00分から午前11時30分

2、開催場所 市役所3階第二委員会室

### 3、出席委員の氏名

教育長 梶原 清

職務代理者 小林 重雄

委員 小林 孝次、川村 直廣、上野 清、赤澤 敬子

### 委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐

### 4、教育長開会宣言

### 5、会期の決定

### 6、今回会議録署名委員

小林孝次委員、川村直廣委員が指名される。

### 7、前回の会議録の承認

職員が1月定例会会議録を朗読し承認される。

### 8、教育長報告

平成29年1月27日から平成29年2月23日までの教育長活動が報告された。

学校教育課長より、指定校変更11件、区域外就学3件について資料に基づき説明を行い、申請事由が適正であることから承認・承諾を行うとともに、他市教育委員会との区域外就学の協議を行った事務処理について報告がなされた。

### 9、議 事

#### 議第16号 平成29年度都留市学校教育の指針（案）について

[説明] 学校教育課長

2月16日に開催された、山梨県学校教育指導重点説明会において、山梨県学校教育の指針が示され、これを基に「平成29年度 都留市学校教育の指針（案）」を作成した。

山梨県の指導重点について、教育研修センターに本市の指針との比較をお願いしたところ、「山梨県の指導重点は〈新山梨の教育振興プラン〉から6つの基本方針の項目建てに変更しているが、従来の都留市学校教育の指針と矛盾するところはないので、平成29年度の都留市学校教育の指針については、変更の必要はないと考える。」との報告があった。

本案を委員会において協議いただき、承認された後に、各小中学校に周知するとともに市ホームページに掲載したいと考えている旨の説明あり。

小林重雄委員

子どもの貧困問題、市内の状況を知りたい。

学校教育課長

生活保護を受けている要保護世帯と就学援助を受けている準要保護世帯が対象になると思うが、人数的には、平成27年度が小学校198件、中学校107件、合計で305件であった。

平成28年度については、まだ途中の数字だが、277件、全体の生徒数から比較すると11.3%から11.8%くらいで、ほぼ横ばいの状態である。

現在、貧困世帯への学習施策として、SAT事業や学力向上フォローアップ事業を行っている。

小林重雄委員

福祉課との連携が出てくると思うが、貧困世帯は、地域性もあるのか？

学校教育課長

本人申請になるので、隠れた所がないと言えない。地域性は、あまり関係ないと思われる。

川村直廣委員

貧困世帯の主な要因は何か？

学校教育課長

準要保護の割合は、市民税非課税の方が18.6%、児童扶養手当を受けられている方が、72.0%ということで主に一人親の世帯が対象になっている。

川村直廣委員

一人親というのは、主に母子家庭なのか？

学校教育課長

どちらかというとも母子家庭と思われる。

川村直廣委員

指針は、何か変わっているのか？

学校教育課長

今回は、変わっていない。

以上の発言あり。

梶原教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

**【原案のとおり決定】**

**10、その他**

[説明] 教育次長

- (1) はつらつ鶴寿大学の卒業式及び修了式について

[説明] 学校教育課長

- (2) 小中学生資格取得補助金交付要綱（案）について
- (3) 卒業式及び入学式の告辞文について
- (4) 卒業式及び入学式の出席委員について
- (5) 都留文科大学卒業式・学位授与式について
- (6) 都留市教員県外長期研修報告書について
- (7) その他

**【 了 知 】**

**11、教育長閉会宣言**